

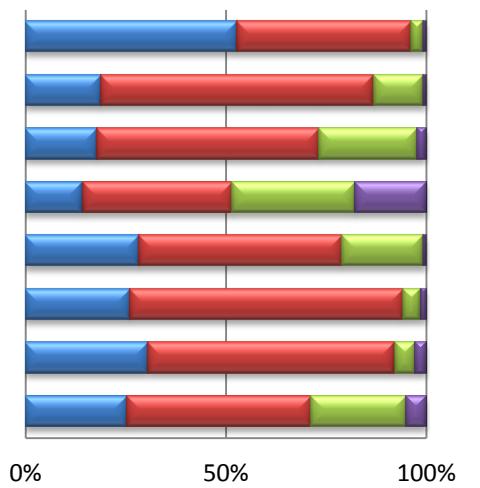


7月に実施いたしました学校評価の集計をお知らせいたします。お忙しい中、保護者の皆様から評価いただいたことを心からお礼申し上げます。教育活動を見直すことができるよう、保護者の皆様と子どもたち、そして教職員が、同じ項目を違う視点で評価できる形にしております。簡単な考察ですが、掲載しましたのでご一読いただければ幸いです。この結果を活かし、さらに子どもたち一人ひとりを大切にした教育活動を行っていきたいと思います。
今後とも、ご支援とご協力をよろしくお願ひいたします。

よく出来ている	大体出来ている	あまり出来ている	出来ていない
---------	---------	----------	--------

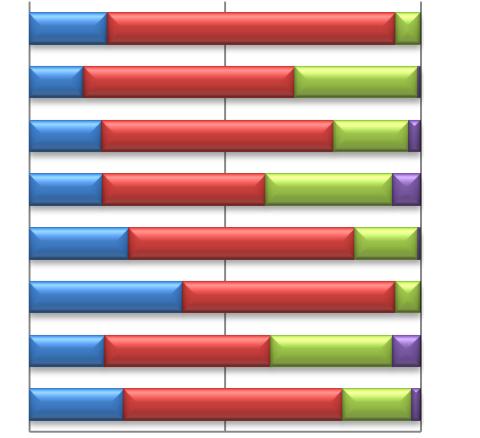
保護者による回答

1 お子さんは、楽しく学校生活を送っていますか。
2 お子さんは、授業が楽しくよく分かるといつていますか。
3 お子さんは、家で進んで学習に取り組んでいますか。
4 お子さんは、家で本をよく読んでいますか。
5 お子さんは、進んで「おはよう」「さようなら」「ありがとう」などのあいさつをしていますか。
6 お子さんは、思いやりのある心や優しい心が育っていますか。
7 お子さんは、友だちや周りの人たちから大切にされていますか。
8 お子さんは、「早寝・早起き」が身についていますか。



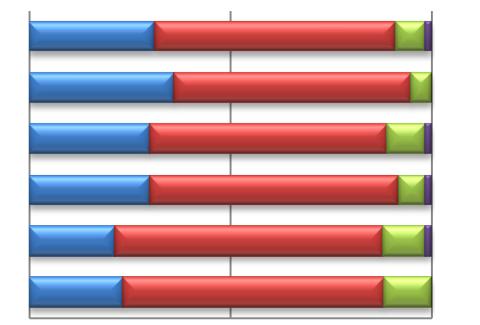
0% 50% 100%

9 お子さんに、きまりを守る大切さを指導されていますか。
10 ご家庭で、お子さんがじっくり学習できる環境を整えていただいているですか。
11 ご家庭で、お子さんと言葉づかいについて話されていますか。
12 お子さんと家の役割(手伝い)を決め、実行させていますか。
13 お子さんに、その日のできごとについて話されていますか。
14 学校からの配付物に目を通されていますか。
15 PTA活動・地域活動に参加されていますか。
16 学校行事に参加されていますか。



0% 50% 100%

15 教職員は、お子さんのことについて相談にのってくれますか。
16 学校は、学校だよりやホームページなどいろいろな取組を、保護者の方に伝えていますか。
17 学校は、学年(学級)だよりなどで学習した内容や学校の様子を、保護者の方に伝えていますか。
18 学校は、保護者や地域の方々との交流を深め、積極的に参加していますか。
19 学校は、一人一人を大切にした教育活動を行っていますか。
20 教職員は、子どもたちにわかりやすい授業を進め、学力向上に努めていますか。



0% 50% 100%

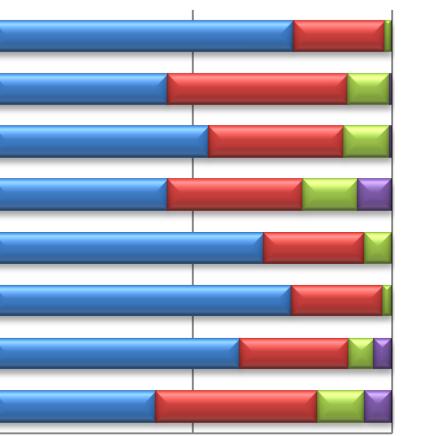
○【項目2】《授業の充実と確かな学力》

項目1「学校が楽しいか」という項目に対しては、昨年度の前期アンケートと比べ、保護者・児童ともほぼ同様な結果となりましたが、項目2の「授業が楽しくよく分かるか」という項目については、『そう思う』という回答が、昨年度と比べ保護者・児童とも、約5%低下しました。これは、大変重く受け止めなければならないと、反省しております。今後、授業の準備や指導法など、学校全体でお一層努力し、子どもたちがいきいきと学習に向かい、確かな学力が身に付くよう取り組んでまいりたいと思います。

各ご家庭でも、お子さんが勉強を分かっているかどうか、積極的に声をかけ、テストやプリント、ノートなども点検してください。また、学習予定表と一緒に見ることも大切で、予定表を見ながら学習の内容をお子さんに聞いていただく一つの方法です。

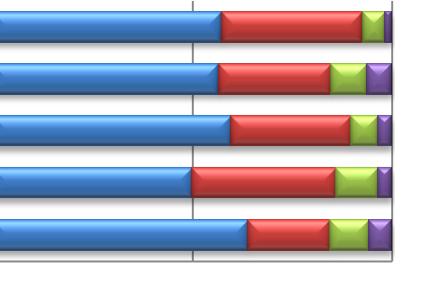
児童による回答

1 学校生活は楽しいですか。
2 授業は楽しくよく分かりますか。
3 家で進んで宿題や学習をしていますか。
4 本を読むのが楽しく、学校でも家でも本を読みますか。
5 自分から進んで、「おはよう」「さようなら」「ありがとうございます」などのあいさつをしていますか。



0% 50% 100%

9 学校や学級の約束やきまりを守っていますか。
10 学習予定表を使って、時間割をそろえたり、学習のふり返りをしたりすることができます
11 あなたは、先生や友だちに対して言葉づかいに気をつけていますか。
12 家の手伝いをしっかりしていますか。
13 家の人に学校や学級でのできごとを伝えていますか。



0% 50% 100%

お子さんの反応から理解の様子や学習意欲をとらえることができると考えます。その中で疑問や不安に思われることや気になることがあれば、どうぞ、担任にご相談ください。

○【項目5】《進んであいさつ》

項目5「自分から進んであいさつをしているか」の項目に対して、『だいたいできている』と回答している児童が約90%以上いたのに対して、保護者の方々の回答は、80%を切っており、評価にやや隔たりがみられました。学校で子どもたちの登下校の様子などを見ていると、項目の文言にある「自ら進んで」という部分についてはまだ十分ではないと感じています。特に登校時は、声が出にくかったり相手と目が合わなかつたりとはっきりとした声であいさつができるにくいようです。

学校に限らず、社会生活においても、人と出会ったら、まずあいさつから始まります。子どもたちにあいさつすることを求めるだけでなく、我々大人が範を示すことが大事です。こちらから子どもたちに積極的にあいさつをし、子どもたちがきちんとあいさつできたら認めほめていくことで、自ら進んであいさつができる子どもに育つ

○【項目12】《家での役割》

今年度、新たに項目12「家での手伝い」を追加しました。お手伝いは、自分自身を他者から頼られる存在として実感し、役割の期待と義務と責任が学べます。さらには、家族の絆が深まるとともに、思いやり・配慮・感謝の気持ちなどが芽生え、育つと考えます。

もちろん、家族の一員として、決められたことを毎日続けることは大切ですが、家に限らず何かを頼んだ時にサッと動けたり、自ら率先して手伝ったりできる子どもであってほしいものです。

どうぞ、子育てにおける大切な取組の一つとして、お子さんと相談しながら家の役割を考えて実践してください。

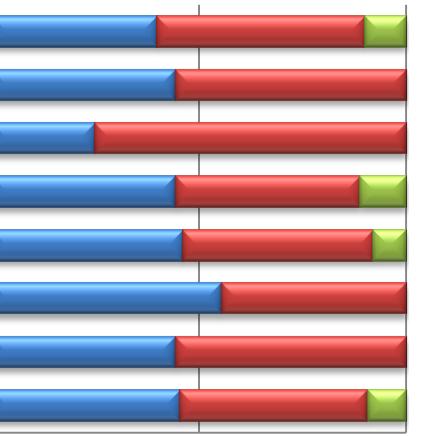
教職員による回答

1 学校生活のあらゆる場面において、子どもが主体的に取り組める活動を意図的に行っている。
2 基礎・基本の学力の定着を図る取組を行っている。
3 家庭学習への働きかけや宿題の出し方の工夫を行っている。
4 進んで読書活動するよう工夫を行っている。
5 あいさつの指導をするとともに、率先して声かけを行っている。

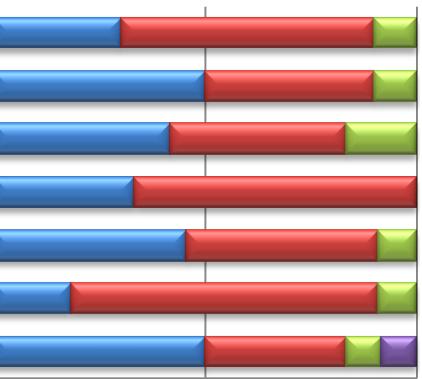
0% 50% 100%

6 一人一人を徹底的に大切にし、児童同士が互いに認め合うことのできる学級づくりを行っている。
7 児童同士が互いに認めあうことのできる学級づくりを行っている。
8 基本的生活習慣を確立することの大切さを子どもたちに指導している。(保健だより等の確立)

0% 50% 100%



0% 50% 100%



0% 50% 100%

○【項目13】《子どもの思いや願い》

項目13に対して、児童による評価を見ると、約85%程度が「学校でのできごとを家庭で話す。」と回答しています。子どもは学年が進むにつれてだんだん学校でのできごとを話さなくなっていく傾向にありますが、思春期を迎える時期においては仕方のない部分もあります。一方、項目16・17の保護者の方々の回答をみると、それぞれのご家庭に子どもたちの様子をお伝えすることが、まだ十分でないと評価されているのも確かです。今後、おたよりを充実させていくとともに、ホームページ等で子どもたちの様子が伝えられるよう努力していきたいと思います。

ご家庭でも、お忙しいとは思いますが、一日の中でお子さんとゆっくりお話をできる時間を作っていただき、楽しかったことやうれしかったこと、がんばったことなどを聞いていただけたらと思います。そのことで学校の様子が分かるだけでなく、お子さんが学校で頑張っている姿や困りや悩みにさらに深く気づいていただくことにつながっていくでしょう。しいては、お子さん自身が自分のことを気にかけてもらっている、大切に思ってもらっているという自己有用感の高まりにもつながることと思います。

【教職員の自己評価について】

学級担任以外では回答できない項目もあり、その場合は、集計に入りません。

